

元中だより



元吉原中学校HP

富士市立元吉原中学校
学校だより 第3号
令和5年6月28日

☆体験教室・修学旅行☆

1・2年生は、5月25日(木)から1泊2日で“体験教室”に行ってきました。スローガン「We can do it! ~深めよう絆 動こう自分から~」を掲げ、実行委員が先頭に立って運営していました。他の生徒も協力し合いながら活動する様子が見られました。特に、1・2年混合の班でカレー作りをして、全ての班が上手に調理できたことは、とても感動しました。



大自然の中でレクリエーション

3年生は、5月26日(金)から2泊3日で“修学旅行”に行ってきました。スローガン「継往開来 ~We will make great memories~」を掲げ、京都・奈良の歴史的建造物などを訪ね歩く中で、古(いにしえ)の時代に想いを馳せていました。また、絵付けや数珠づくりなどの体験学習では、抜群の集中力を発揮し、(売り物になるのでは…)と思わせるような作品もできあがりました。



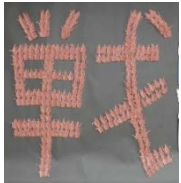
歴史・文化・伝統を肌で感じる

どちらの行事からも“自分たちで行事を創る”という意識の高さを感じられました。今後行事以外の場面でも「生徒が創る学校づくり」を目指して行ってほしいと思います。私たち職員も“いかに生徒を主役にできるか”について研修を重ねていきます。

体験教室に参加した2年生の振り返り

私は、以前から、(人に言われてから行動したくない)という思いを持っています。体験教室を振り返ってみると、人に何かを言われてから行動に移す場面が多かったのではと反省しています。だから、今後の学校生活では、先のことまで見通し、(どうすれば後で楽になるか)などと考えながら、常に、次に何をやるのかを考えて行動していこうと心に決めました。他の皆さんも、それぞれが行事で学んだことを学校生活に生かして行ってほしいです。

☆部活動壮行会☆



1・2年生から
3年生へ

6月16日(金)に1・2年生が企画した3年生のための“部活動壮行会”が行われました。まずは、1・2年生からお世話になった3年生に対して心のこもったメッセージを伝えました。それに対して3年生からは、部長が中心となって大会やコンクール等に向けた決意表明、後輩や顧問への感謝の気持ちなどが述べられました。コロナ禍であっても工夫を凝らして部活動を運営してきた自信のようなものを感じました。

会が終わり3年生が教室に戻ろうとすると、3年生のオープンスペースに、深紅の折り鶴でかたどった“戦”の字が飾られていました。「(大会やコンクールだけでなく受験などに対しても)自分や相手と戦って勝ち抜いてほしい」という1・2年生の熱い思いが込められた3年生へのサプライズでした。



3年生の決意表明

後輩からエールを受けた3年生の感想

昨年度まで私は、先輩を応援する側において、心を込めて準備したからこそ、その分の大変さを感じていました。今回は、応援してもらった側になりました。後輩たちの“真剣な表情や言葉”が私たち3年生の胸に届き、すごく嬉しくなったし、力にもなりました。1・2年生の皆さんには、心を込めて準備をしてもらい、本当に感謝しています。大会では、全部の力を出し切ってきます!

☆講演「元吉原防災史」☆

6月14日(水)に総合的な学習の時間の「防災グループ」は、郷土史を研究されている梅原久司氏をお招きして「元吉原防災史」について講演していただきました。普段何気なく通り過ぎている様々な場所についてたくさんの発見がありました。



郷土の隠れた
史実を知る

※本校では、梅原さんのような地域の方の応援団を募集しています。CSD(コミュニティ・スクール・ディレクター)から声が掛かるかもしれません。その際は、ご協力いただけたら幸いです。